

## 下地市長公約推進計画の進捗状況

下地敏彦市長は、平成21年1月25日付、第2代目の宮古島市長として就任しました。就任後は、政権公約として掲げた8大基本政策の具現化に向け、市民並びに関係者の皆様のご支援、ご協力の下、丁寧にスピーディに取り組んでいるところです。市長就任後2年間の取り組み内容と進捗状況を公表します。

なお、進捗状況は、公約目標年度における達成状況（1期4年間で100%とし、1年間で25%を目安としています）を示しております。

（平成23年5月現在）

### 1. 市行政組織の改革

#### ●個別施策

##### 1) 分庁方式の見直しを含めた組織機構の効率的運用と改革の早期実施

職員が減少する中で住民サービスを維持できる組織機構の構築を図り、効率的な行政運営に努めます。

公約目標年度	進捗状況	H22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	75%	支所機能の見直しを行い、城辺支所、上野支所、下地支所の二つの課をひとつに統合し、総務部統括としました。	行財政改革班

##### 2) 指揮命令系統の徹底と責任所在の明確化

- ①管理監督者研修の実施（H21年度～）
- ②事務改善行動計画の徹底（H21年度～）
- ③人材育成計画基本方針の策定（H21年度～）
- ④人材育成計画実施計画の策定（H21年度～）

公約目標年度	進捗状況	H22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	85%	管理監督者の責務、職員の責務について、条例に則した事務の徹底に努めています。 H22年度は、監督者研修に2名、管理者研修に1名それぞれ派遣しました。	総務課



### 3) 信賞必罰の徹底

- ①法令・条例等に基づく事務の遂行に向け職員の研修強化を図ります。(H21年度～)
- ②懲戒・分限に係る指針の見直し(H21年度)
- ③人事評価システムの導入(H23年度)

また、信賞必罰を徹底することにより、公務員としての自覚を促すとともに、やる気のある職員を応援する仕組みづくりを行います。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	60%	一般職員向け研修会の開催及び各研修会への職員派遣を行いました。また、人事評価システムについては、H23年度導入を検討しています。	総務課
H21年度 ～ H24年度	75%	宮古島市服務規程に沿った「服務規程Q&A」及び「文書事務Q&A」の周知徹底を図りました。今後も服務規程や倫理規定の遵守徹底を図ります。	行財政改革班

### 4) 各種プロジェクトの創出・導入に向けた企画部門の強化

公約に掲げた宮古島活性化のための各種プロジェクトを強力に推進していくため、企画政策部にプロジェクト班を設置します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	75%	観光商工局を新設し、市の総合産業である観光産業の振興を強化しました。  【観光商工局】の主な業務：観光施設の整備、観光事業、姉妹都市、交流都市交流事業、特産品の調査・開発等、商工業の振興、路線バス、消費者行政等、トライアスロン宮古島大会、スポーツアイランドづくり、NPO支援等。	行財政改革班



## 2. 市財政の立て直し

### ●個別施策

#### 1) 市職員数の類似市並みにするための計画的縮減の実施

集中改革プランは平成21年度で終了することから、第2次プランの策定の中で、適正規模の市政運営に向け、定員の適正化と組織・業務のスリム化に取り組みます。

また、勸奨退職の促進による職員数の計画的削減を行います。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	75%	平成21年度に策定した第2次「集中改革プラン」の中の定員適正化計画に基づき、職員数を平成21年度の946名から、平成22年度は908名に縮減しました。	行財政改革班
H22年度 ～ H24年度	35%	平成22年度勸奨退職者は、7名おりました。 計画的職員削減を図るための一環として、H22年度から、勸奨退職促進のため、勸奨退職に関する要綱の見直しを図っております。	総務課

#### 2) 現在実施している全ての事業の総点検と見直しの推進

・第1次宮古島市総合計画の前期基本計画における施策の達成状況を確認・検証することで市の現状や課題等を把握し、その対応策を後期基本計画に盛り込んでいきます。

また、行財政改革班においては、総合計画の実施計画を策定する企画政策部と連携し、全ての事業について総点検を実施します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	前期基本計画では施策ごとに目標値を設定しており、その目標値の達成状況を把握するための調査を各部局を対象に実施しました。	企画調整課
H21年度 ～ H24年度	75%	平成22年度から第二次集中改革プランをスタートさせ、事務事業の再編、改善等を推進しました。	行財政改革班



### 3. 農林水産業の振興

#### <農業>

##### ●個別施策

##### 1) ①土地改良事業の推進（市実施事業）

<農地整備事業>

(H22年度事業)

- ・ほ場整備
- ・畑地かんがい整備事業

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	37%	平成22年度においては、ほ場整備（5地区：24.28ha）、畑地かんがい整備（2.00ha）を実施しました。（事業費1,169,327千円）	農地整備課

##### 1) ②農村生活環境整備、農地等保全管理事業の推進（市実施事業）

<農業農村整備事業（管理計画）>

(H22年度)

- ・村づくり交付金（3地区）
- ・団体営農地保全整備事業（3地区）
- ・県営農地保全整備事業（3地区）
- ・団体営ため池等整備事業（1地区）
- ・県営水質保全対策事業（1地区）

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	農村地域の振興基本理念として、「地下水を活かした豊かな美ぎ島宮古」と位置付け、地域資源循環利用の推進、減災（台風、病害虫等に強い農業の推進）、農業と観光産業の連携・農業後継者の育成、後継者の定住環境づくりをテーマに総合的な振興を図っています。 【平成22年度に実施した主な事業】 ・村づくり交付金（3地区）337,331千円 ・団体営農地保全整備事業（3地区）127,088千円 ・県営農地保全整備事業（3地区）137,248千円 ・団体営ため池等整備事業（1地区）49,800千円 ・県営水質保全対策事業（1地区）200,000千円	むらづくり課

**2) WTOに対応したサトウキビ生産方式の検討と関税引き下げ対策への取り組みの強化**

本市農業の最重要課題として、持続的発展と将来の展望が図れるよう、県と連携し国に対して強く働きかけていきます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	政府対応を注視	WTO関連等については特に取り組みは行われませんでした。政府は新たに原則すべての物品の関税を撤廃する自由貿易協定のTPP交渉への参加を目指しており、関税が撤廃された場合、農産物等に壊滅的な打撃を与える懸念があるため、JAや県等と連携しながら取り組みを進めてまいります。	農政課

**3) ムツウサ等、新規商品への支援強化**

健康食品として注目されているムツウサ等を本市農業の新たな戦略品目として積極的に支援強化を図ります。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H23年度	65%	大豆の栽培技術確立を行うため、2箇所の実証展示圃を設置し、実証実験を行いました。 事業費：200千円	農政課

**4) 肉用牛等畜産への支援強化**

肉用牛（子牛）生産出荷体制と、生産基盤の確立を図ります。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>子牛拠点産地としてH21年7月に県から認定を受けました。また、H22年度は、5,651頭（前年度、5,934）を出荷し、1,996,996千円（前年度、1,867,485千円）の販売実績がありました。引き続き、地域の特性を生かした産地形成に取り組んで参ります。</li> <li>H23年4月に肉用牛（肥育牛）拠点産地として県から認定を受けました。</li> </ul>	畜産課

**<林業>****●個別施策****1) 緑の創出の推進**

<平成22年度事業>

・流域育成林整備事業：81,509千円 ・特定森林造成事業：16,925千円

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H24年度	50%	<p>地域森林計画等に基づき、造林事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>流域育成林整備事業：81,509千円</li> <li>特定森林造成事業：16,925千円</li> </ul>	みどり推進課

## 2) 防風林及び公園・緑地用樹木の育成

<H22年度事業>

- ・緑をつくる条例推進事業：300千円
- ・花いっぱい推進事業：809千円

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H24年度	50%	平良、城辺、伊良部3箇所の育苗センターにおいて苗木生産年間約6万本を目標に育苗を進めるとともに、植栽方法など、一般市民への啓発普及に努めています。また、地域環境美化意識の高揚を図り、まちのみどりの美化に活躍している各団体の活動を支援するために、花苗などの配布を行っています。 ・緑をつくる条例推進事業：300千円 ・花いっぱい推進事業：809千円	みどり推進課

## <水産業>

### ●個別施策

#### 1) 製氷施設等水産物流通施設の整備と流通システムの構築

伊良部地区佐良浜と平良地区池間において、製氷施設を新たに設置することにより、計画的な漁業活動を支援し、漁業者の生産意欲の高揚と漁業振興に寄与します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H22年度	100%	伊良部地区佐良浜と平良地区池間において、製氷施設を設置しました。 ・伊良部製氷施設整備事業（完了）：RC造4階建、製氷20t、貯水40t、冷凍施設 ・池間製氷施設整備事業（完了）：RC造3階建、製氷2t、貯水5t、冷蔵・冷凍施設	水産課

#### 2) パヤオの増設

パヤオを設置し、漁場造成に努めるとともに、漁船漁業を推進します。  
(離島漁業再生支援交付金事業)

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H23年度	65%	簡易型表中層パヤオを1基設置しました。	水産課

#### 3) 貝類・藻類養殖事業の推進

貝類、藻類等、養殖の生産拡大と新たな養殖産業の創出と産地化を図ります。  
(離島漁業再生支援交付金事業)

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H22年度	100%	クモガイ3,000個を放流し、またキリンサイの養殖試験に着手しました。	水産課

#### 4) 水産業の振興：種苗供給施設の整備

種苗生産体制の拡大を図り、つくり育てる漁業を推進します。  
(沖縄県水産業構造改善事業)

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度	100%	※H21年度にて公約目標達成済	水産課

### 4. 観光及びスポーツの振興

#### ●個別施策

##### 1) 市民と観光客が一緒になって楽しめる新たなイベントの企画

H21年度文化資源活用型観光戦略モデル構築事業（県観光振興課）を活用します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H22年度	100%	現在実施中のイベントの見直しを図り、市民及び観光客が交流・体験できるような参加型イベントづくりに取り組んでおります。平成22年度は第1回エコアイランド宮古島マラソン大会を官民連携によりスタートさせ、エコとスポーツを一体化させたイベントとして実施しました。	観光課

##### 2) 海・浜を利用したレジャー及びイベントの充実

本市の観光産業にとって、海・浜を利用したレジャーやイベントの開催は、特に重要な位置を占めることから、「宮古島市観光振興基本計画」を策定する中で、観光に関するニーズ調査を実施します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	・観光振興基本計画を踏まえ、ビーチバレー宮古島大会やマリンドайビングフェアなどの海、浜関連のイベントの補助をおこないました。(補助金：2,340千円) ・海族まつり実行委員会を設置しました。	観光課
H22年度	100%	・海中公園の工事が完了し、23年4月6日より開園しております。	水産課



### 3) 児童・生徒・市民の健康促進のための市体育協会の育成強化

宮古体育協会に補助金の増額を行い、組織の育成に努めるとともに、市民の健康増進を図るための環境づくり、連携を強化します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	宮古体育協会に所属する各団体に対し、21年度に引き続き、22年度も補助金を継続補助しました。 補助金：(H21)14,000千円、(H22)14,000千円	市民 スポーツ課

### 4) 環境未来税の新設による観光、健康施設の整備充実

自然環境（エコ）の保全等を核とした本市の新たな魅力を創出し、観光振興や雇用創出につなげるため、新たな財源確保に向け、その方策を検討します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	30%	平成22年度は、関係資料の収集と調査等に努めました。23年度は、「庁内検討委員会」を開催し、平成25年度の導入に向けてのスケジュール等の検討を進めていきます。	企画調整課

## 5. 医療・福祉の充実

### ●個別施策

#### 1) 県立宮古病院の新築促進と市休日夜間救急診療所の併設

宮古圏域の安定した医療の確保に向け、県と協力し県立宮古病院の早期建設に積極的に取り組みます。

また、県立宮古病院内に市休日夜間救急診療所を併設することにより、市民の利便性向上及び県立病院が本来担う2次救急への負担軽減、業務の集中化など、円滑な医療体制の確保に努めます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	30%	これまでの県との調整過程を経て、予定地の旧農林高校グラウンド敷地内の体育館の解体・撤去が完了し、本格的な工事に着手しました。総事業費は約65億円が見込まれています。本市としてもH25年5月開院を目指し、県が進める建設スケジュールが円滑に進むよう協力します。	企画調整課
H21年度 ～ H24年度	30%	移転新築する宮古病院内において市休日夜間救急診療所を併設することが決定し、建築費用は地域医療再生事業により10/10国庫負担とすることとなりました。病院全体と同時に22年度で実施設計も終了しております。	健康増進課



**2) 託児所及び保育所等幼児対象施設の整備・支援強化**

- ① 宮古島市公立保育所建設事業：255,648千円
- ② 砂川保育所改修事業：3,000千円

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度	100%	※H21年度にて公約目標達成済。	児童家庭課

**3) 長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の充実強化の促進・支援強化**

集団健診・個別健診等について啓発に努めます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	健診事業については、平成22年度より運営主体が市町村から後期高齢者医療広域連合に移行されたため、自己負担分助成については後期高齢者医療広域連合が行っております。 H22年度は、チラシ配布や広報みやこじまへ掲載するなど健診への啓発に力を入れた結果、受診率を30%まで引き上げました。(H21年度受診率24%、H20年度受診率19%)	国民健康 保険課

**6. 教育の充実**

**●個別施策**

**1) 小・中学校の統合も含めた地域教育の在り方の検討**

小規模学校のあり方を検討する委員会を組織し、その中で池間小学校、池間中学校の併置を検討します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H22年度 ～ H24年度	50%	・23年度より池間小学校・中学校が併置校としてスタートすることになりました。 ・8回の学校規模適正化検討委員会の開催と8回の住民懇談会を開催し、学校規模適正化に関する答申を行いました。	教育総務課 教育施設課 学校教育課



## 2) 豊かな心を育む学校教育費の大幅増額の実施

児童生徒の「生きる力」を育成するため、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むため、学校図書の実、学力向上対策、教育相談体制、特別支援教育の充実に努めます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひかりをそそぐ交付金を活用し、小・中学校図書館の蔵書を増やし、児童生徒の読書活動の充実を図りました。(17,383千円)</li> <li>・特別支援教育支援者を7名に増員し、対象児童生徒の個別の教育的ニーズに対応しました。(7,200千円)</li> <li>・児童生徒の県内外への派遣補助費の基準を、市の大会で準優勝以上から3位以内へと拡大することで、より多くの児童生徒に対し補助を行い、保護者の負担軽減を図りました。(17,049千円)</li> </ul>	学校教育課

## 7. 宮古島活性化のためのプロジェクトの推進

### ●個別施策

#### 1) 天然ガスを活用したコンビナートの建設

宮古島における水溶性天然ガスについては、昭和35年～昭和45年にかけての「沖縄天然ガス資源調査」により賦存することが判明しており、旧城辺町の調査報告書の中で掘削費用等も試算されています。

掘削費用等については、相当な予算確保が必要なことから、国・県及びNEDO等関係機関と調整を図りながら、補助事業、関連事業の助成メニューを開拓します。

また、島内外の有識者による「資源利活用検討委員会」を設置し、併せて、民間事業者とも調整を図りながら、天然ガスコージェネレーションシステムを活用した施設の誘致または建設を実現します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	30%	<p>平成22年度においては、国内における天然ガス開発の拠点（千葉県）の調査・視察を行いました。</p> <p>平成23年度には、「宮古島における天然ガス資源調査」が4月25日から開始され、同年6月10日までの予定で行われております。</p> <p>調査範囲は宮古島全域で、東西南北に調査用の側線を碁盤の目状に区切り、起振車（パイプロサイス車）にて人工振動を発生させ、その振動による地下からの反射波を測定する方法で、およそ地下2,000mを調査します。</p>	エコアイランド推進課

## 2) 温泉水を利用した保養及びリハビリ施設の誘致

温泉水については、天然ガスに付随するものであり、上記天然ガスの取り組み手法と同様に、温泉水を活用したクアハウス等の施設を誘致し、併せて、天然ガスコージェネレーションシステムを活用します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	賦存量調査結果に基づき対処する	上記の調査の結果を踏まえて、天然ガス活用検討委員会を立ち上げ、委員会を2回、市民への周知と啓蒙の為、セミナーを1度開催予定し、将来的には温泉や温浴施設をつくる民間事業所に情報を提供して、誘致につなげる方針をとってまいります。	エコアイランド推進課

## 3) 伊良部大橋建設の促進

道路特定財源制度の見直しにより、H21年度から一般財源化されたことに伴い、伊良部大橋建設工事にかかる安定的な事業予算確保に向け、国・県並びに関係機関に対し官民一体となって陳情、要請行動を展開していきます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	78%	平成22年度3月末の進捗率は、全体で78%となっておりますが、耐久性等の問題により工事が1年間遅れることになったことから、国・県に対し早期完成を働きかけていきます。	企画調整課
H21年度 ～ H24年度	78%	伊良部大橋建設事業の円滑な促進及び開通後の振興策の具体化を図っていくため、地元支援団体とともに、県と連携して取り組みました。 23年度以降も、引き続き県及び関係機関との協議を進めてまいります。	道路建設課

## 4) 中小企業への支援促進

宮古島市小口資金融資制度により、事業を営む小規模企業者の資金需用に対処します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H23年度	60%	宮古島市小口融資制度により、事業を営む小規模企業者の資金需要に対処し、平成22年度は3件の申請認可を行いました。	商工物産交流課

### 5) 特色あるホテル建設の促進

現在、計画のあがっているリゾートホテル建設について、早期着工を求めるとともに、本市のニーズに合ったホテル建設について協議していきます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H23年度 ～ H24年度	H23年度より事業着手	環境モデル都市の指定を受け、低炭素社会の実現を促進するため、太陽光、天然ガスなどの新エネルギーを活用した宿泊施設の建設について啓発活動をH23年度より展開する予定です。 また、温泉水を活用したクアハウスを併設した宿泊施設の建設を促してまいります。	企画調整課

### 6) 土地改良事業の促進（国・県との事業）

農地整備事業

（H22年度事業）

・国営宮古・伊良部地区かんがい排水事業

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	国営宮古伊良部土地改良（かんがい排水）事業は、総事業費523億円のうち、平成22年度は12億2200万円の事業を執行し、平成21年度から平成22年度までの合計執行額は28億1873万円となっております。なお、平成22年度に実施した工事の主な概要は仲原地下ダム工事126m、伊良部導水路工事1.5kmです。	農地整備課

### 7) 島全体を対象とした電線地中化の促進

沖縄ブロック電線類地中化協議会において、「第6次5ヵ年計画」で事業採択に向け取り組みます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	40%	平成22年度は、国道390号線において21,190千円で事業を実施しております。（総事業費900,000千円） また県道高野西里線（平良港～北給油所まで）においては、平成22年度事業費450,014千円で事業を実施し、工事完了となっております。（総事業費604,014千円）	都市計画課

**8) 下地島空港及び残地活用計画の策定**

空港及び残地利活用について（本市提案方策）

- ①国際的な航空関連教育の拠点づくり
  - ・空港、リゾート、ホテルなど、航空産業に係わる国内外教育拠点設置
  - ・国産小型ジェット機など新たな需要への対応
- ②災害時における国際緊急支援活動の拠点づくり
  - ・JICA「国際緊急援助隊」の拠点空港としての機能整備

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	30%	下地島空港の利活用については、沖縄県やJICA沖縄等関係機関と空港利活用に関する検討を行っております。 下地島空港残地については、同用地の払い下げについて検討を行っています。	企画調整課

**9) 地域における伝統文化・行事等の継承・保全のための支援**

各自治会に補助金を交付します。（15団体）

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H24年度	50%	市指定の無形民俗文化財の保存団体(15団体)に対し、保存のために必要な経費の一部について、補助金交付を行いました。(1団体:50千円)	生涯学習振興課

**10) 拝所等の整備促進**

- ① 国指定史跡「大和井」石垣修復工事を行います。
- ② 県指定史跡「上比屋山」拝所道の整備を行います。
- ③ 指定されている御嶽等の整備を促進します

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H24年度	50%	市指定の拝所、御嶽の管理自治会に対し、保存のために必要な経費の一部について、補助金(1,000千円)の交付を行いました。	生涯学習振興課
H22年度	100%	腰原、富名腰、七原地区の御嶽、古井戸等9箇所を整備を行いました。	企画調整課

8. 施政方針及びマスコミ等で発表した公約政策

●個別施策

1) エコアイランド宮古島の推進

「エコアイランド宮古島」構想を推進します。

H20年3月31日にエコアイランド宣言をした本市では、これまでの実績を踏まえてE3、風力、太陽光、バガス発電、バイオディーゼルの製造、エコツアーの提供、地下水の保全等について積極的に取り組みます。

※5年以内に具体化する主な取り組み：

- サトウキビ増産アクションプランの実施
- 新エネルギーの大規模導入
- 東南アジア型エコハウスの普及促進
- エコツアーの実施

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H24年度	85%	<p>&lt;エコアイランド推進課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、県の政策動向を踏まえ、環境モデル都市を更に加速させ、国内外へ発信普及できるプログラムとして再構築するため、島内外の有識者による「島嶼型低炭素社会システム構築委員会」を設置し、今後の具体的な推進方策をまとめました。(事業費:7,443千円)</li> <li>・「宮古島市地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定等事業委託業務」運輸部門における、電気自動車及びバイオ燃料によるクリーンエネルギー自動車普及のビジョンを作成しました(委託費3,517千円)</li> <li>・「島嶼型低炭素社会システム構築委員会報告書」及び「地域新エネルギービジョン・省エネルギービジョン策定」概要版(パンフレット)を全世帯へ配付しました。(事業費:420千円)</li> <li>・シンポジウム「スマートコミュニティで目指すエコアイランド宮古島」を開催し、宮古島市のエネルギー関連の取り組みと今後の展開について講演、施設見学を通して理解を深めました。(事業費:1,300千円 参加者:81名)</li> <li>・省エネ型住宅(エコハウス)を市民や島外者に対し開放し、建築工程及び建物の性能を周知すると共に、実生活に近い状態での宿泊体験を通し、エコハウスの工夫を島内外に発信しました。(事業費:2,072千円 見学者:603名 宿泊者:71名)</li> </ul> <p>&lt;下水道課&gt;</p> <p>平成22年度中に公共的地下水利用施設管理者との協議を3回(会議2回、文書1回)及び、地下水審議会1回、同審議会学術部会4回の審議を経て、第3次宮古島市地下水利用基本計画案を策定し、平成23年3月の議会にて上程、可決されました。</p> <p>金額:委託料/9,345千円</p>	エコアイランド推進課及び全部署

## 2) 国民健康保険税率の見直し

国民健康保険税条例の一部を改正し、現行税率を引き下げます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H22年度	100%	<p>国保税負担軽減を図るため、国民健康保険税条例の一部を改正し、21年度に引き続き国保税率の引き下げを実施しました。</p> <p>所得割(全体) 14.00% → 12.45%</p> <p>資産割(全体) 49.00% → 42.80%</p> <p>均等割(全体) 30,000円 → 26,800円</p> <p>平等割(全体) 24,800円 → 22,500円</p>	国民健康保険課

## 3) 県営公園早期整備への要請活動

県に対し、宮古地区の県営公園整備事業の実施を強く働きかけていきます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	30%	<p>県と市町村連絡会議において、県立広域公園整備事業を早急に整備し、宮古圏域の活性化を図るよう要望しました。また整備にあたっては、運動公園としての整備を図っていただくよう要請中です。</p>	都市計画課

## 4) 市陸上競技場の改修

地域のスポーツ振興を図るため、陸上競技場の改修工事を行い、地域住民及び各種スポーツイベントにおいて安心して利用できる施設とします。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H22年度	100%	<p>「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、改修工事を行いました。(229,000千円)</p>	市民スポーツ課

## 5) 高齢者が生き生きと暮らせるための支援強化

老人クラブ活動の支援を強化し、生き生きとした高齢者社会の実現に努めます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21年度に引き続き、敬老祝い金の支給を行いました。</li> <li>・宮古島老人クラブ連合会に対し、老人の孤独死防止を図るための見守り事業及び連合会活動運営資金の助成を行いました。</li> <li>・老人クラブ単位の活動に対し、活動資金として助成を行いました。</li> </ul>	介護長寿課

**6) 安全・安心な教育環境の充実**

＜放課後子ども教室事業＞

子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれるための環境づくりを推進するため、すべての小学校区において放課後や週末に地域住民の協力のもと、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、勉強やスポーツ・文化活動、様々な体験活動などを実施します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	H22年度の子ども教室実施数は12教室、延べ576回開催し、延べ16,014人の児童が参加しました。また、地域の安全管理員及び学習アドバイザー(延べ2,304人)やボランティア(延べ480人)を配置し、放課後の子どもたちの安全に配慮しながら、体験活動や学習活動を指導するとともに異年齢交流を図りました。	生涯学習振興課





**7) 心豊かな生涯学習社会の実現**

＜生涯学習フェスティバル事業＞

広く市民に対し、学習活動の成果発表の場や学習情報を提供するとともに、「学び育てる文化のまち みゃ〜く」をテーマに生涯学習の振興を図ります。

また、市民の実際生活に関する教育・学術及び文化に関する事業を行い、市民の教養向上、健康増進、情操純化、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため、地域に根ざした各種講座の内容充実にも努めます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	生涯学習フェスティバルを開催し、市民一人ひとりが学習成果の舞台発表や創作展示、活動報告などを行い、生涯学習に対する意識の向上を図りました。また3個人に対し、社会教育功労表彰を行いました。	生涯学習振興課
H21年度 ～ H24年度	50%	8カ所の市立公民館(中央、城辺、上野、下地、伊良部、下崎、西原、久松)において、それぞれの地域住民のニーズに応じた各種講座(計77講座)を開講し、延べ8,631人が受講しました。 H23年度以降も地域に根ざした各種講座を引き続き実施します。	中央公民館
H23年度 ～ H24年度	—	H24年度以降の「宮古島市子ども劇団」設立を目指し、検討委員会やワークショップを開催し取り組みを進めます。	文化ホール



### 8) 新エネルギー資源の活用推進

本市には、太陽光発電・風力発電をはじめとする新エネルギー施設や、島の基幹作物さとうきび製糖時の副産物である廃糖蜜を原料とするバイオエタノール生産施設、泡盛蒸留粕を利用したメタンガス生成施設など、様々な再生可能エネルギー施設が島中に点在しています。

このような既存施設を紹介・説明するPR館及び小規模の新エネルギー施設を数種類揃え、訪れた方々に宮古島のエネルギー地産地消や環境保全に対する取り組みへの理解を深めていただくとともに、次世代のエネルギーを見て、触れて、体感できるシステムを構築します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度の内閣府予算事業「沖縄スマートエネルギーアイランド基盤構築事業」を活用し、再生可能エネルギーの効率利用による「島嶼型スマートコミュニティ」実現に向けた実証実験を行うべく、国・県や沖縄電力などの関係機関と調整を進めました。その結果、平成23年度より実証事業に着手することとなりました。</li> <li>市内全体を次世代エネルギーパークとして位置付けた計画の認定を受け、平良庁舎に展示設備を一部設置しました。</li> </ul>	エコアイランド推進課



### 9) ごみ処理施設の早期建設

- ①ごみ処理施設を整備します。(H20年度～H26年度)  
※ストーカー方式63t/日
- ②リサイクル施設を整備します。(H20年度～H26年度)  
※不燃ごみ・資源ごみ処理施設12t/日
- ③リサイクルプラザ施設を整備します。(H27年度～28年度)

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H24年度	60%	平成22年度は、環境影響評価方法書に基づき現況調査及び分析を行いました。平成23年度は準備書及び評価書、都市計画決定手続きを実施予定です。また、建設予定地周辺の合意形成を図り工事着手に向け取り組みます。	環境施設整備室

**10) 葬斎場の早期新設**

宮古本島内には、民営の火葬場が1箇所存在するが、施設の老朽化が著しく、永続的経営が困難になることが予想されることから、今後は、行政が主体となって運営する葬斎場の早期新設に取り組みます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H22年度	100%	平成21年度に葬斎場建設工事に着手し、平成22年度は本格的工事に取り組み全工事を完了しました。平成23年5月16日より供用開始しました。	環境施設整備室

**11) 新図書館移転新築の調査・検討**

- ・H21～23年度 地域アーカイブ準備作業、図書館電算システム計画準備作業及び新図書館建設に向けた取り組みを行います。

<今後の取り組み予定>

- ・H24年度 基本設計
- ・H25年度 用地購入・実施設計
- ・H26～27年度 建設工事
- ・H27年度 開館予定

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	27%	地域アーカイブ計画準備作業・図書館電算システム計画準備作業・新図書館建設に向けた図書館情報学教授による講演会を開催しました。	中央図書館建設準備室

**12) 水道事業の整備促進**

宮古島市水道事業変更認可（第一次拡張事業）

本事業は、伊良部大橋に送水管を添架し、宮古島から伊良部島へ水道水を送水することで、伊良部島の安定供給が図られ、安価な水を供給することが可能となります。また、伊良部送水に伴い、宮古島本島の水道施設の処理能力増強、取水施設、送水施設の建設などが必要となりますが、配水区域の再編を行うことで、袖山浄水場の負荷を軽減させ、増設する施設を必要最小限にとどめる事業です。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	29%	宮古島本島より伊良部島への送水工事及び需要水量に対応するための配水管工事を行いました。	水道総務課

**1 3) 道路・港湾・下水道施設の整備促進**

住民、来島者が安心・安全に利用出来る道路整備の計画及び実施に向けて取り組めます。

- ※特定交通安全施設整備事業
- ※地方道路整備臨時交付金事業
- ※道路改築事業

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	58%	平成22年度は、2路線が事業完了しており、児童生徒の安全確保のための歩道設置が確保できております。 道路整備事業の円滑な推進を図るため、今後も道路整備の計画及び実施に向けて取り組めます。	道路建設課

H20年度「平良港港湾計画(改訂)」において漲水地区再編事業計画が決定しています。

(総事業費：138億3千万円)

- ※H23年度～H30年度、同地区において7万トン級旅客船バース(340m)、うち耐震強化岸壁(220m)、緊急物資集積兼用緑地(2.5㌥)等

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H23年度 ～ H24年度	—	国に対して平成23年度新規着工に向け要請活動を行いました。	港湾課

公共下水道は、道路、公園等とともに、主要な都市施設の一つであり、汚水、生活雑排水の適切な処理により、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、設置、整備していきます。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	35%	H18年度宮古島市公共下水道事業計画の変更により、竹原地区土地区画整理事業が具体化したことから、その周辺区域を含めて104㌥の区域を事業認可区域に追加し、385㌥に拡大しました。 H21年度末125㌥であった整備面積を、H22年度には134㌥に拡大しました。	下水道課

**1 4) 消防機能の充実**

救急・救助体制の充実を図るため、職員の技術力の向上や資機材・消火栓等の整備を実施します。

公約目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	50%	沖縄県消防学校・消防大学校における各種教育及び救急救命研修所における救命士養成等に職員13名を派遣し、技術力の向上を図りました。	消防本部 総務課
H21年度	100%	※H21年度において公約目標達成済み 海難救助を行うための水難救助資機材(ボート)を伊良部支所に配備しました。	消防本部 総務課

H21年度	100%	※H21年度において公約目標達成済み 消火栓の未整備地域を中心に整備を実施することにより、火災事案に対し迅速な水利確保を達成し、被害の軽減を図るため、平良・下地・上野地区（4カ所）、伊良部地区（8カ所）を整備しました。	消防本部 総務課
-------	------	--	-------------

### 15) 市総合庁舎建設

総合庁舎方式への移行については、今後、市行政組織改革の中で検討されることになっており、その結果を踏まえた上で市総合庁舎建設に向け取り組みます。

目標年度	進捗状況	22年度における主な取り組み内容	担当課
H22年度 ～ H24年度	25%	22年度は、新庁舎建設庁内検討委員会を立ち上げ、委員会を開催し、定員適正化計画や中期財政計画を踏まえた上で、行政サービスの観点から支所を含めた現庁舎の問題点等を洗い出し、建設の是非について議論を開始しました。23年度も引き続き議論を深めてまいります。	企画調整課

今後も宮古島市は、この推進計画の実現に向け鋭意取り組んでいきます。

推進計画内には、複数年かけて行う事業が多数あります。このような長期の事業を計画通りに実行していくため、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

宮古島市長 下地 敏彦